

主作農産物の推移

○ 珊瑚カル 様花

新來者や若い人達には半信半疑ではないかと思う。バストス開植当時は、猶豫は農業の主産物で、農家は競つて栽植したものである。

日本から来て間もない吾々は、こんな広漠としたブラジルの原野にほうり出されて、これから生きどうして生計を立てろか、見当もつかなかつたが、ファゼンダに入耕し、一年契約のコロノをやつていろいろ間に農業で身を立てるならガフェーに限るという話。コロノ契約がすんだら珈琲の四年契約、又は六年契約という方法がある。どこでも契約者を欲しがっているから、最も少ない賃金で済む四年契約を選んだらよからう。

井戸全部自前である代り、四、五、六年の三年間の収穫が自分のものになる。土地購入の資も出来るから、そこではじめて自作農というわけだ。——といふような話を耳にし、或程そういう出世街道があるかと、実は氣の長い話に少々驚きもしたが、何しろ無一文で来たのだから、石の上にも十年かと、泣きべそをかいたものだった。

々新移民にも棚ボタ式の話を落ちて来た。四年とか、六年とか、そんな悠長な話じやないま、バストスに来たまえ。日本からうの地主移民が少ししか来ないので、土地が余つていろんだ。一等地十アルケ一ヶ月コント、二等地八コント、手金はいうな、十年の年賦だ。営農資金がないって？ それは困つたね。入植したら貸してやるよ、と言われ、掘りざんまで入植したのは筆者一人ではなかつたと思う。

ウニオンⅡ区の一等地であつた。珈琲を植えようと思つていたらう、一九三一年の珈琲植付制限令が実施されて、止むを得ず棉花に切りかえた。勿論営農法には智識のない筆者のことだから、實際には人まかせ。家族を養うため創立早々の産

○綿花では誰が儲けたか

一九三五年頃から約十年バストスは棉花玉国として栄えた。ゴトメス、東綿、ボトランチソ、その他製綿会社が次々とバストス製綿工場を動かし、農家の実棉を買いつけた。常に資本家の製綿会社にいや気を覚え、産業組合が自らの手で精錬し、聖市の中のボルサで売却し、あとで清算する方法をとるような付組にした。実棉サフランの頃のバストスは、棉景気



An illustration of a cylindrical gas cylinder with vertical ribbing. A vertical pipe with a valve is attached to the top, from which a horizontal hose extends to the right.

スペルメールカード

電話十六番

太郎屋力之部

卷之二

菜組合に入れてもいい。専ら算盤で米糧の貢を稼いだ。

た話をかけて、土地だけ自分のものにしたわけである。

ところで当初バストスで網耕園を仕立て、ひとかどのファゼンディロにたるつもりの人は、入植早々皆カフエを植えた。その三年四年の幼年樹は一九三〇年の二日三日にわたら大霜で全滅してしまい、つづく如毬植付制限令で、農家のカフエ熱は一ぺんに吹き飛んでしまひ、主作は棉花に移動した。

一熱は一ぺんに吹き飛んでしまい、主作
は棉花に移動した。

で賑わつたものだ。倉庫不足で実綿はサッコのまま野天積にされ、いくつかのビルミットのようになら立つた。

それだけの札びうがバストスをうるお

したわけだが、棉作りは忙しいだけで、

誰も金儲けをしたもののはなかつたようだ。

誰も自家用車を持った話をきかない。

ただわいわい騒いだだけのものらしかつた。

棉作りは土地荒しである、表土を流すばかりでなく、土質から養分を吸収しつくし、あとは荒廃してしまう。それでも精錬工場を持った産業組合内マキナを動かすために毎年実棉を買入れ、バストス内だけでは不足なので、遠くソロ線、バスラナ州まで手を伸ばして実棉買入れに懸命だ。たゞ次第に棉作りは寂れてしまつた。

その後養鶏時代があり、その不振時代もあり、やがて養鶏時代に移行するのであるが、一時二千余の農家をもつていたバストスは、打ちつづく戦後の不況と、輿地新聞の熱気にあふられて五百、三百と、次第に減少してしまつた。

残つた人達は養鶏に着手したが、養鶏が生んだ実蹟はすばらしく、バストスの経済的地盤は、ここ十年にして築かれたようである。

○ 暮よ、もう一度

玉子の高値がつづく。特九〇、大ハ七、中ハ五ーとはこれまでの卵価の最高である。もう三ヶ月ほどつづいているが、その内又値下げかかるものと覚悟せねばならないまい。こんどの高値は手放しで喜んでばかり居られぬそうだ。飼料の値上がりも相当なもので、利益が割に少く、尚ミヨの収穫が少ないせいか、価額が上がり、これまでのよう入手も樂でないといふことだ。それやこれやで、前途樂観は許されぬといふから、養鶏家も今の内前途、運営に対して腹を据える必要がある。

バラナ州で珈琲に代る作物として大豆クローバー・アップし、一俵五十クルゼー・レ・ス程度だつたものが、三倍にも跳ね上り大豆成金が統出し、ソルベツチ一本に五〇・・クルゼー・口紙幣で支払うのでも儲けが少いだけなら大豆熟は上昇の一大豆は北米、支那、満州方面の特産で布拉ジル大豆は、これまで数量からいことも僅少だったが、北米あたりの不作を心に不足を告げたものだといふ。

營業案内

雇庸契約を

確実にしておくこと

いざこざの起きないよう

するには、

○ 契約書が大切です

労働法、民事、刑事

会計事務一切

農家も帳簿を確実に!!

当会計事務所で御相談下さい

プレジデンテ バルガス街一八九

小石川雅宏
郵函 一〇三番
電話 一〇五番
一八〇番

ORGANIZAÇÃO RIO BRANCO S/C
ADVOCACIA CONTABILIDADE E DESPACHO

ある邦字新聞では、大豆のブームに醉うのは危険だと警告していたようだが、とんでもない高価を期待するのはよくないが、通常値で取引きされるものなら、大豆なるまい。その内又値下げかかるものと覚悟せねば市長を持つ作物だから、ブラジル大豆の価値が評価されれば、北米や支那産と太刀打ちができる筈はない。問題は原価に作るべきだと思われる。大豆は世界が高くつく競争できないでは仕方がないが、製油、締め粕、と工業化することを考えれば、大豆の将来性は洋々たるものがある。

ブラジル政府は大豆ブームに警告を発したとかいう話もあるが、勿論買手もない程の生産も困るが、日本の商社を相手に産出する分には差支えなかろう。大豆をバストスの豊産物に取入れる可能性ありや否やは素人の私では何と判断しようもないが、予モラロタシヤ地帯でないところの対象を探している養鶏家が未だにござらないということだ。養鶏でこれだけの成果を上げて来たのだから、これを主軸

防衛作物として何を採ぶかが問題となつて来たようだ。大豆のような高収穫、取扱

と手のかかるものは困るといふなら果樹

栽培でも人手を要するも、叢叢とも独

立した産業として現在ブームを呼んで居

り、ことにバストスにはアラ蜀製糸会社

が販賣養蚕二本立て也可能であろう。又ど

うしても手数のかからぬ創業を採びたい

う人は桐の植林などに眼をつけける可

う。先日新聞広告で見たのだがバウル

の長沢製麺会社では桐の栽培園を兼ね

ていよいよである。これは日本が桐不足

で材を輸入する。すでにプラジルに求めたもの一張で

は輸出材として不動の土台となつていい

作の農産物より遙かに世話をかかるが

一旦栽培すれば五六耳で収穫され

ようだ。植林は一時的には手もかかるが

一年の収穫は五六年で収穫され

工作の農産物より遙かに世話をかかるが

一旦栽培すれば五六耳で収穫され

ようだ。植林は一時的には手もかかるが

一年の収穫は五六年で収穫され

ようだ。植林は一時的には手もかかるが

一年の収穫は五六年で収穫され

花の御礼

木原守日曜学校生徒一同

入植祭演芸会に出まして皆様から御花

をいたゞきありがとうございました。

瀬戸内耕済先生

高國室太郎様

宇都宮房雄様

柳浦千代様 大谷道平様

小林ヨンエ様 小林千代様

若橋すみ子様 口ナ小橋

永吉さよ子様 アンナクレスチナ様

篠崎木正様 ネイティンガル様

小林一也様

花の御礼

入植祭演芸会に出まして御花をいたゞ

ました。

天野健二様

川上サチ子様

森下ハルミ様

佐藤天乃二様

水谷城田一様

鶴見良輔様

鶴見良輔様

天野健二様

川下ハルミ様

森下ハルミ様

花の御礼

入植祭演芸会に出まして御花をいたゞ

ました。

天野健二様

川上サチ子様

森下ハルミ様

佐藤天乃二様

水谷城田一様

鶴見良輔様

天野健二様

川下ハルミ様

森下ハルミ様

花の御礼

入植祭演芸会に出まして御花をいたゞ

ました。

天野健二様

川上サチ子様

森下ハルミ様

佐藤天乃二様

水谷城田一様

鶴見良輔様

天野健二様

川下ハルミ様

森下ハルミ様

バストス栗道眾に春のおとす贈
馬久保洋一郎君のあとをつぐ
増田武藏

バストス栗道眾に春のおとす贈
馬久保洋一郎君のあとをつぐ
増田武藏

増田少年は去る六月三十日、七月一日サ

ンベルナードに於ける聖マリオ栗道選手权

会に於て準少年中量級三年連続優勝し得した。尚年今未満のため七月八日少年

級の試合に出場して一位となり。第十八回グランプリ少年柔道選手权大会に於中量級とて出場へ七月二十七日より十九日迄

聖マリオカエノフ体操館で競試合を左し優勝

市パカラエノフ体操館で競試合を左し優勝

栗道選手权一回より将軍を贈目され

る。尚蒙選で十八才迄を少年として

いふ。尚蒙選で十八才迄を少年として

御

私
と

去る七月二十二日（入植祭）の節ゴルフ俱楽部より女王候補として推薦され、出馬いたしました幸運な一位となり、女王に選ばれました。

大方のみなさまの御支援によるものと爰に厚く御礼申上げます

(水本彰次女)

花の御禮

ウニオノ上男女青年団

去る入植祭演芸会の節当青年団の出演に對して
左記の方々より沢山の御花を頂戴致し、誠に有
難く、紙上乍ら厚く御礼申上げます

p 8

花の御禮

バヌトヌ婦人会

去る入植祭演芸会の節、当婦人会の演劇を乞わ
れて出演致しました頃、皆様より過分御花を頂
戴致しまして誠に有難うございました。厚く御
禮申上げます。

「九十六歳の祖母の入院判ついて彼は
「孫が六人いるんですけど、みんなの負
担にしているんです、私たち集ると言う
んですよ。お婆ちゃんが死んだら赤飯を
炊いて祝おうって」
「まあ」と昭子。

「時代にハハツキなんですか？」
「お婆ちやんは、あなたたちが分る？」
「眼が開かないんですね」
「え？」
「筋無力って言うんですって、臉が上う
ないんです。おしめ当てるし、年に一
度は見舞に行くことになつてるんですけど。
なんだか汚うしくて、もう見るのも
嫌やね。父なんかも言つてます。病院で
どうして愛してくれないんだろう、て」
「ああ、じどいわ」
「だって、ただお金がかかるだけなんで

すもの。看護婦さんの日給は上る一方だし、ゴム管を鼻から胃まで通してシユースを送り込んでいるだけなのに、五年たつても十年たつとも死なないんですもの。父は、俺の方が先死ぬだろうって嘆いていろんです。お父さんが死んだら私たち孫は夜逃げしようつていろんんですけど」

昭子は相手にならずにタイプライターの音を必要以上にがちやん・がちやんと言わせて傍き続けた。よりによつてこの法律事務所には人間がたつた四人しかいらないのに、どのうち三人が壇礎した老人と共に暮らした経験があるか・あるいはともに暮らされていっているのだ。

昭子は離れる土り口に倒れていた姫を窺ひ出した。久しぶりに姫のことを思い出したという実感がある。昭子は姫の人気が好きであった。あんなに気難かしいに五十年も仕えて来たのに、血色のよい顔に微笑を絞やしたことがなかつた。茂造と昭子の間にたつて何かと氣を遣つてくれたのも今はありがたい思い出でにまつてしまつてゐる。昭子は口にしながらが、京子も信利も言つていただように姫の前では奴隸と同じ忍苦の生活を強いられていたものだつたのだろうか。そして、姫もまた姫の方が生き残るものと思つてくられたのも今はありがたがかった。

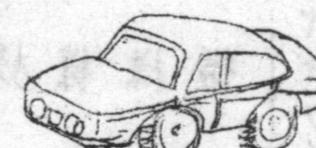
姫と形容するだらう。昔の女といふのは、姫の日突如昇天してしまつた。昭子は潘が出てた。姫のような女の一生を、人は決して我慢できないだろうと思われろ一生。そしてその鮮やかな死。美容院で洗髪セットをすませて直後に死ぬなどといふことは誰でもが真似のできるものではない。だがそれも、茂造がすぐ人を呼んでいれば、助かるかも知れない。

「本件に関して検察当局が被告に情状酌量の余地なしとされてるのは、尤であります。が、ガチャマンとタイブを叩いて、子は溜息をついた。姫の死を悲悼に悼んでいたのかどうかと自分に問いかけて、昭子は急に自信がなくなつていた。残つたのが、姫の方であつたならといふ思いの方が強いのをどうすることも出ない。

仕事が済つていろから残業しようかとし迷つたけれど、日中に外へ出て買物することにした。デパートの地下で食事する余裕がなかつたので、時間通りに急に殖えた人口のために食生活。ラーメンばかり狂つていろ。茂造はともかく今までスパゲッティや油淋のよう

MARVEL - MARILIA VEICULOS LTDA

名実とも世界の高級車ク
新発売の小型車



CHEVETE

カミニオネツテ

新車と交換いたします

バール柳浦に出張して居り

便用二方土，安

上引
瀨尾清

開口していた。それから自分の好きがちのを勝手に作ればよかろうと思うのだが、賜子の台所に入るのを遠慮しているのか、自分の家の家事雑用から解放感に浸つてゐるのか、京子はあまりに動こうとしないのである。初七日が過ぎたら帰ると言つていたが、昭子の方でも京子といふ異物と交つて暮らすのはそれくらいが限度だといふ気がする。冷凍品を京子が薄気味悪ろがつて箸をつけようとしないのも気に障つてした。舞でも蛤でも鮮度はずつとこの方が上なのに本当に田舎の人間の非材字性には參つてしまふ。テバートの地下の食品売場の中を歩きまわつて特価品などをまとめて買つているうちに、松葉蟹を山と積み上げて、ヨーナーへ出た。冷凍庫には、まだ一匹の毛蟹が入つてしることを思い、かなり迷つたが雄を一匹と小柄な雌を一匹と買ってしまつた。雄は二三度に分けて信州に、雌の方は茂造にという心づかいである。

登食をオフィス街で一番安いラーメンですませたため、馬鹿に空腹になつたので、地下鉄への出口ホットドッグのスタンドで立食いをした。こんなことも小姑が家にいろかうと思えばこそ心準備なのだ。今日は賜子が一日いかつたのだかう、京子も食事の仕度くらいして

7 移 轉 御 挨 捷

梅 津 喜 平

私儀此の度家庭の事情により聖南西地区サンミゲルアルカンジョ管内のビニール植民地に移転することになりました。想い返せば一九五七年に当地に参り、ブラ拓製糸会社やコチア産組に御危介になり、皆様方には直接間接御世話をなりました御高恩に何う報ゆる事なく去る事は心苦しい限りですがお許し下さい。

移転先は本年入植十周年を迎えた若い小植民地ですが、日頃皆様よりの御教訓を生かし、彼の地で努力する心算でござります故、何分の御指導と御鞭撻、並びに変わぬ御厚情を懇願致します。

一九七三年七月三十日

移転先き KIHEI UMETSU
A/C COOP. AGRICOLA D SUL BRASIL
SÃO MIGUEL ARCANJO LTDA C. POST. 80
18230 S. MIGUEL E.S.
バーストス、コチア組合員 様
ドナルド・グルーフ農員 様
ホリネス教会 会員 様
知 友 各 位 様
知 友 各 位 様

移転 御 挨 捷

花の御禮
去る入植祭演芸会の節私たち婦人会の出演に左記の方々より沢山の御花を頂戴致し誠に有難うございました

グリア工婦人会

花の御禮

樋 原 清 様	崩 山 商 店 様	坂 口 義 一 様	若 野 静 香 様	中 浦 芳 幸 様	満 畑 多 一 様	山 根 三 郎 様	馬 場 静 代 様	奥 田 耕 様
千 葉 バ ウ ロ 様	矢 野 武 信 様	高 橋 保 政 様	高 橋 保 政 様	九 山 静 男 様	板 垣 葉 局 様	守 越 商 店 様	柳 浦 さ わ 様	高 橋 保 政 様
真 木 论 様	真 木 輝 男 様	西 条 真 理 天 様	高 橋 葉 子 店 様	山 口 良 夫 様	高 橋 葉 子 店 様	高 橋 葉 子 店 様	高 橋 葉 子 店 様	高 橋 葉 子 店 様
栗 原 久 次 郎 様	柳 浦 さ わ 様	栗 原 久 次 郎 様	栗 原 久 次 郎 様	栗 原 久 次 郎 様	栗 原 久 次 郎 様	栗 原 久 次 郎 様	栗 原 久 次 郎 様	栗 原 久 次 郎 様
以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上

全拓連南米移住地視察団の来植

視察者名簿

1 長尾 仁平	岩手県立農協中央会理事
2 秋山達明	福島県立福島農商教諭
3 石井修一	高崎農業科教諭
4 渡辺靖六	同県立鹿沼商工高校教諭
5 後藤連一	東京都立大農獸医学部教諭
6 飯澤義衛	長野県立農業科教諭
7 堀田秀丸	愛知県佐織町町長
8 同行	同上
9 筒井誠志	三重県水産部次長
大崎賜夫	岡山県農林部農業経済課長
後藤つる	東京都日大後藤獣医学部

私儀、このたびサンパウロ市「サンセイ」電気器具商に勤務することになりましたので家族共に聖市へ移転することになりました。

長らく御地の皆様に一方ならぬ御厚誼を賜わり、おかげ様にご大歓迎なく過すことが出来ましたことをあつく御礼申上げます。出発に当りましては御餞別などを頃き、まことに有難く重ねて御礼申上げます。サンパウロ方面に御越しの節は、拙宅にて御休憩下さいます様、又皆様の御健康と御繁荣を祈り上げます。

先づ取次す移転御挨拶申上げます。

住所 萩原典一

右の日本よりの視察団が八月十五日に当地を訪問し、見学をして頂き度い旨の依頼状が来て居ります。毎年お世話になるのですが、参上の節は宜しくお願い致します。

AV. SENADOR CASEMIRIO DA HOSHA
987
VILA. MARIANA. SÃO PAULO
CAPITAL

VILA. MARIANA. SÃO PAULO
CAPITAL

四十五周年祭典演芸

勧進元御花御禮

光石竹乃

19

左記の方々よりの御花、厚く御礼申上げます

誠にありがとうございます

戸梶長河川小鶴伊河大山山松豊佐清磯小石森板戸柳宮宮岡小友櫻井前宇
 団田澤辺合林あ藤本塚根本浦島島藤家フオット下橋垣田浦武田本野谷井佐山
 千商千鶴小け妙恵孝三衆喜又幸るキ鳥飼籠悦イさ勝静花信千商美
 工店久み子子雄郎子市王寛子みノ本場子子わ甫子子春店店

様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様

ドゴン聖市
モナリサ聖市
ドラセナ聖市
モダナ聖市
カーネギー聖市
トマト聖市
文化体育文人

分エンブ
モナリサ
カーネギー
トマト
太平
西井

大清遠梶奥大豊柳鷗川古今水郷川山茂有内吉織水山小字豊谷富橋川大岡花文化
 塚家藤田高島浦原辺田姫野麗内姫馬場秀島口吉本イ倉本柳井
 谷頭孝る常商治喜き竹道春幸代武ト重ヒ次し三木重秋兄てサ重利金協文人
 雄み治店耕夫一わ藏助一作子真彦ク一郎郎づ郎場ル幸子弟いノ一幸晴会吉弥本会

様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様

金一封也

御禮

右は御熟記として当会に御寄贈
下さいました。厚く御礼申上げます

一九七三年六月二十九日

谷口章様

ハストス曰伯文化協会

かつて御依頼を受けておりました外国人登録、左記の方々の分が出来ましたので、至急
取りにおいて下さい。

急

告

會計法律事務所

森

十一

五

男

筒井愛子 小沢あやか 郷原周
清水え 中西ふさ 永吉ふ 美園
志村文 藤原文 墓作引 三輪文
戸田源 田源文 墓作引 戸藤
北谷 田源文 墓作引 戸藤
信太秀 伯春 里江 江次
豊田 春永 春永 里江 江次
池安 安永 春永 里江 江次
吉安 安永 春永 里江 江次
中野 野清 上口 久
中西 西上 戸久 久
中原一 一上 戸久 久
過橋 口上 戸久 久
矢野 野清 上口 久
三宅 宅圭 久
宗像 亀圭 久
冉谷 金国 久
冉谷 金国 久
今福 きく 久
古谷 克己 久
上健 金治 久
古谷 金治 久

樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣

Dr.
森重五男

八月五日(日)九日(火)六日(水)八時 東映 天竺電

若山富三郎 清川虹子 山城新伍

遠藤辰夫 笠置シズ子

天津敏

極道児状旅

橋ますみ
内田良平 里見浩太郎

三島ゆり子

高倉健

梅宮辰夫 江原真一郎

北大路欣也

中村賀津雄

身ふるいする妖気、女体を食うまだら猫、すり泣くようすの沼の怪、
ほるふ劇団

総天然色

大信田礼子

天津故

緒方季 加藤喜

渡瀬恒彦

待田京介

毎日小説(文学賞)間野文学賞に輝く流れに逆らてごもどんが歓しい誇り炎を燃やして生き抜た女の強よさ、美しさ、

山本学 河原崎長郎

菅原文太

上田哲夫

松竹配給

里見浩太郎

具岐保雄

以

八月七日(火)八日(水)両夜とも八時

清川虹子 笠置シズ子

天津敏

上田哲夫

東映 総天然色

梅宮辰夫 江原真一郎

北大路欣也

中村賀津雄

身ふるいする妖気、女体を食うまだら猫、すり泣くようすの沼の怪、
ほるふ劇団

緒方季 加藤喜

渡瀬恒彦

待田京介

毎日小説(文学賞)間野文学賞に輝く流れに逆らてごもどんが歓しい誇り炎を燃やして生き抜た女の強よさ、美しさ、

山本学 河原崎長郎

菅原文太

上田哲夫

松竹配給

里見浩太郎

具岐保雄

以

八月十日(金)八時半十一日(土)九時半

若山富三郎 清川虹子 山城新伍

遠藤辰夫 天津敏

身ふるいする妖気、女体を食うまだら猫、すり泣くようすの沼の怪、
ほるふ劇団

緒方季 加藤喜

渡瀬恒彦

待田京介

毎日小説(文学賞)間野文学賞に輝く流れに逆らてごもどんが歓しい誇り炎を燃やして生き抜た女の強よさ、美しさ、

山本学 河原崎長郎

菅原文太

上田哲夫

松竹配給

里見浩太郎

具岐保雄

以

八月十二日(日)九時半十三日(月)八時

若山富三郎 清川虹子 山城新伍

遠藤辰夫 天津敏

身ふるいする妖気、女体を食うまだら猫、すり泣くようすの沼の怪、
ほるふ劇団

緒方季 加藤喜

渡瀬恒彦

待田京介

毎日小説(文学賞)間野文学賞に輝く流れに逆らてごもどんが歓しい誇り炎を燃やして生き抜た女の強よさ、美しさ、

山本学 河原崎長郎

菅原文太

上田哲夫

松竹配給

里見浩太郎

具岐保雄

以

八月十四日(火)十五日(水)両夜とも八時

若山富三郎 清川虹子 山城新伍

遠藤辰夫 天津敏

身ふるいする妖気、女体を食うまだら猫、すり泣くようすの沼の怪、
ほるふ劇団

緒方季 加藤喜

渡瀬恒彦

待田京介

毎日小説(文学賞)間野文学賞に輝く流れに逆らてごもどんが歓しい誇り炎を燃やして生き抜た女の強よさ、美しさ、

山本学 河原崎長郎

菅原文太

上田哲夫

松竹配給

里見浩太郎

具岐保雄

以

八月十七日(金)八時半十八日(土)九時半

若山富三郎 清川虹子 山城新伍

遠藤辰夫 天津敏

身ふるいする妖気、女体を食うまだら猫、すり泣くようすの沼の怪、
ほるふ劇団

緒方季 加藤喜

渡瀬恒彦

待田京介

毎日小説(文学賞)間野文学賞に輝く流れに逆らてごもどんが歓しい誇り炎を燃やして生き抜た女の強よさ、美しさ、

山本学 河原崎長郎

菅原文太

上田哲夫

松竹配給

里見浩太郎

具岐保雄

以

花の御礼

柔原芳子

梅宮辰夫 江原真一郎

北大路欣也

身ふるいする妖気、女体を食うまだら猫、すり泣くようすの沼の怪、
ほるふ劇団

緒方季 加藤喜

渡瀬恒彦

待田京介

毎日小説(文学賞)間野文学賞に輝く流れに逆らてごもどんが歓しい誇り炎を燃やして生き抜た女の強よさ、美しさ、

山本学 河原崎長郎

菅原文太

上田哲夫

松竹配給

里見浩太郎

具岐保雄

以

花の御礼

柔原芳子

梅宮辰夫 江原真一郎

北大路欣也

身ふるいする妖気、女体を食うまだら猫、すり泣くようすの沼の怪、
ほるふ劇団

緒方季 加藤喜

渡瀬恒彦

待田京介

毎日小説(文学賞)間野文学賞に輝く流れに逆らてごもどんが歓しい誇り炎を燃やして生き抜た女の強よさ、美しさ、

山本学 河原崎長郎

菅原文太

上田哲夫

松竹配給

里見浩太郎

具岐保雄

以

花の御礼

柔原芳子

梅宮辰夫 江原真一郎

北大路欣也

身ふるいする妖気、女体を食うまだら猫、すり泣くようすの沼の怪、
ほるふ劇団

緒方季 加藤喜

渡瀬恒彦

待田京介

毎日小説(文学賞)間野文学賞に輝く流れに逆らてごもどんが歓しい誇り炎を燃やして生き抜た女の強よさ、美しさ、

山本学 河原崎長郎

菅原文太

上田哲夫

松竹配給

里見浩太郎

具岐保雄

以

花の御礼

柔原芳子

梅宮辰夫 江原真一郎

北大路欣也

身ふるいする妖気、女体を食うまだら猫、すり泣くようすの沼の怪、
ほるふ劇団

緒方季 加藤喜

渡瀬恒彦

待田京介

毎日小説(文学賞)間野文学賞に輝く流れに逆らてごもどんが歓しい誇り炎を燃やして生き抜た女の強よさ、美しさ、

山本学 河原崎長郎

菅原文太

上田哲夫

松竹配給

里見浩太郎

具岐保雄

以

花の御礼

柔原芳子

梅宮辰夫 江原真一郎

北大路欣也

身ふるいする妖気、女体を食うまだら猫、すり泣くようすの沼の怪、
ほるふ劇団

緒方季 加藤喜

渡瀬恒彦

待田京介

毎日小説(文学賞)間野文学賞に輝く流れに逆らてごもどんが歓しい誇り炎を燃やして生き抜た女の強よさ、美しさ、</p